

# 石本米穀店

☎ 0242-22-2401

FAX0242-22-2501

定休日 日曜日・盆・正月

毎度有難うございます

平成16年1月11日

第8号



がんこおやじ

# 米屋のひとりごと

**輝かしい新春を迎え皆様の「ご健康とご多幸をお祈り申し上げます」**  
**本年もよろしくお願ひ申し上げます**

会津は穏やかな新年を迎えました。しかしながら寒さは厳しいものがあり、身の引き締まる思いです。

楽しく一年を過ごしたいと思えます。商売人は初市の会津若松十日市(二月十日)から本格的な仕事始めとなります。今年の会津は、「NHK大河ドラマ「新選組」に会津藩が登場、野口英世博士の千円札発行、十一月三日〜七日まで伝統工芸品国民会議全国大会があり、全国的に注目されるうです。

会津鶴ヶ城は四月にリニューアルオープンし塩蔵から五層まで、新しい時代の新しい魅力をあます所なく伝えます。

さらに冬の風物詩となつてます磐越西線の雪を舞い飛ばして走るSL運行は人気を博し、不定期ながら観光シーズン中の運行まで延長されております。

春・夏・秋・冬の祭りは観光に訪れる方ばかりでなく、地元も楽しみに待っております。



## 十五年産米の悩み

新年早々ではありますが、米業界は難しい一年になりそうな予感がしますので十五年産米の情勢を予測を交えお知らせいたします。

全国的な不作は、入札による大暴騰で即販売価格に反映され、お得意様にとって内容と合わせ納得の価格となつていのか、心配の種となつております。

会津には全国の米業者が殺到し、地元「あいづ米」が無くなるという心配もあり、9月の次期新米を迎えるまでは「あいづ米」から「福島産の米」「東北の米」さらに「国内産米とのブレンド」などの可能性があり、単品販売が一時的に難しい時期が来るかもしれません。

国からは政府備蓄米という古米の活用も推進されそうです。

このような中、当店と致しましてはお得意様の「協力を得、農家の皆様と話し合いを蜜にし、常に安全・安心なよりよい商品をお届けできるよう努力いたします。

情勢に大きな変化がありましたら随時お知らせいたします。

**「提案」「希望がございましたら」「ご相談ください」**



### 一疊ギヤリト(展示即売) 会津人の心

- 一月 荒井工芸所  
会津ブランドの張子の赤べこをメインにお正月にふさわしい、えと申・縁起物の風車・起き上がり小法師・会津万歳の面を展示
- 二月 三月 工房 鈴蘭  
会津の地場産業「漆器」を斬新なアイデアと伝統技法で製作
- 四月 五月 原山織物  
三百年の伝統「会津もめん」製品は使い込むほど良さがわかります